

ID: 162

論文No: 163

論文名: 「コンピュータ・半導体：オープン化に弱かった日本」

掲載誌名:

巻:

号:

ページ:

書名: 日本経済の効率性と回復策 - なぜ日本は米国に遅れたのか - - (「日本経済の効率化と回復策に関する研究会報告書」)

発行者名: 大蔵省財政金融研究所

発行年: 2000年

発行月: 6月

ページ: 第3章、pp.51-94

発表・講演等:

ページ:

URL:

単共: 1. 単著 / 編 / 編著 (1. 単著 / 編 / 編著 2. 共著 / 編 / 編著)

刊行種別: 4. その他 (1. 単行本 2. 大学・研究所紀要 3. 学術雑誌 4. その他)

言語: 1. 日本語 (1. 日本語 2. 英語)

内容種別: 1. 他者による編書中の章 (論文)

接近方法種別: 5. 現状分析

概要: 日米間でコンピュータ・半導体産業の比較優位が製品ごとに分かれていることに留意しつつ同産業の日米比較をおこなった。第1節では、主に統計データによって日本のコンピュータ・半導体産業の現状を概観し、同産業における日本の比較優位・劣位の所在を明らかにした。次いで第2、第3節では、コンピュータ・半導体の中でも代表的製品であるデスクトップ・パーソナルコンピュータ(PC)について、1980年代後半から1990年初めにかけて日本がその比較優位を獲得できず、逆に日米格差が生じた経過と原因を考察した。最後に第4節では、コンピュータ・半導体産業について観察された日本の比較優位・劣位の生成原因を考察し、日本が比較優位を実現するために必要な方策について述べた。「おわりに」では、本章が取り扱ったテーマに関する従来の研究成果を概観し、残された研究課題について述べた。

Act-No: Act-375, ,

備考: キーワード: コンピュータ、半導体、ハードウェア、ソフトウェア、パーソナル・コンピュータ、日本型企業組織、上下分離型、NEC9800、互換機メーカー、コンピュータ・半導体産業